



報道関係者各位
プレスリリース

2025 年 9 月 16 日

山梨銘醸「七賢 純米大吟醸 白心」 世界最大級の酒類コンペティション IWC2025 にて 最高賞“チャンピオン・サケ”を受賞

世界が認めた至高の一杯-白州の名水が磨き上げた奇跡の純米大吟醸

山梨銘醸・七賢（創業 1750 年・寛延 3 年）が醸す「七賢 純米大吟醸 白心（はくしん）」が 9 月 9 日イギリスのロンドンで開催された世界最大級の酒類コンペティション、インターナショナル・ワイン・チャレンジ/International Wine Challenge（IWC）2025 SAKE 部門において、最高賞となる“チャンピオン・サケ”を受賞しました。



白州の名水が生んだ究極の日本酒

世界中から集まった 1476 銘柄の日本酒の中で、ただ一つの頂点に選ばれた「白心」。その名のとおり、白州の清冽な水と酒造りへの真摯な想いが生んだ透明感のある味わいは、審査員たちを魅了し、「日本酒の未来を照らす一杯」として高く評価されました。

山梨銘醸株式会社 代表取締役社長 北原対馬 コメント

「白心」は、私たちの蔵が守り続けてきた伝統と、挑戦し続ける精神から生まれた一本です。白州の自然が与えてくれる水と米を、蔵人一人ひとりの心を込めて磨き上げました。この度の受賞は、その真心が世界に届いた証。ぜひ多くの方々に、この透明な味わいを体験していただきたいと願っています。令和の米騒動に伴い、酒米を主原料とする日本酒の蔵元にとって厳しい状況が続いておりますがこれからも地域の農家とともに、白州町の清らかな天然水を用いながら、皆様にご満足・お喜びいただけるような日本酒作りを続けてまいりたいと考えております。1750 年の創業以来続く暖簾をこれからもさらに紡いでいくことができるよう、日本酒の「国際化」「高付加価値化」に主眼を置きながら事業に邁進して行く所存でございます。この度の栄誉を社員一同大変喜び、これからの酒造りにも活かしてまいりたいと思います。



磨き抜かれた米と時が織りなす、七賢最高峰の味わい

「白心」の原料米は、農薬・化学肥料を通常の半分まで減らし、特別に栽培した「夢山水（ゆめさんすい）」。山梨県白州町の大地の力を信じて収穫した夢山水を 27%まで磨き、ゆっくりと低温で醸造。さらに一年間マイナス 5 度で氷温熟成させた、七賢の最高峰。口に含んだ瞬間にふくらみのある旨みが重層のように広がり、清らかな余韻が長く続きます。「白心」は日本酒が持つ芸術性と自然美の結晶。その一杯は、世界が魅了された理由を雄弁に物語っています。

ラベルに宿る白州の息吹

ラベルに描かれた雄大な白い山は、山梨県出身の染色家・古屋絵菜氏によるもの。白州の自然の力と蔵人の想いを象徴し、世界に誇る酒としての存在感を示しています。

七賢のテロワール

七賢の酒造りを支えるのは、白州・甲斐駒ヶ岳のふもと、花崗岩層を 27 年程度かけて濾過された天然の伏流水です。自社敷地内の水源から汲み上げられたこの水は、ミネラルをほどよく含み、まろやかでやさしい口当たりを生み出します。1750 年の創業以来、仕込みから瓶詰めに至るまで一貫してこの水を使用し、自然の恵みを生かした白州の水を体現する酒造りを実践しています。



七賢のサステナビリティ

七賢では 2022 年から蔵内で使用する全電力を、再生可能エネルギー由来の水力発電に完全に切替え年間約 510 トンの CO₂排出量削減を実現しています。また 2018 年からはボイラー燃料を重油から LP ガスへ移行し、環境負荷の低減を継続。さらに、酒粕を蒸留したスピリッツを製品化し、残渣を堆肥化して原料米に還元する循環型システムを構築しました。再生可能エネルギーと廃棄ゼロへの取り組みを組み合わせることで、CO₂排出の抑制に加え、廃棄物の再利用を含む持続可能な酒造りを目指しています。



商品名：純米大吟醸 白心

原料：夢山水（減農薬減化学肥料特別栽培米）

精米歩合：27%

アルコール度数：16 度

容量/価格：750ml / 22,000 円（税込）

受賞歴：2024 年インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC)

SAKE 部門 純米大吟醸の部 銅賞 / 2022 年令和 4 酒造年度

全国新酒鑑評会 金賞 / 2023 年令和 5 酒造年度全国新酒鑑評会

金賞

ラベルデザイン：染色家・古屋絵菜

販売店：七賢直営売店（酒処大中屋）、[公式オンラインショップ](#)の他、百貨店、専門店等



インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）について

インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）は、1984年にロンドンで創設された、世界最大級のワイン・日本酒のコンペティション。出品銘柄はすべてブラインドテイस्टィングにより審査され公平性と信頼性を確保。2007年に新設された日本酒部門は、世界市場における日本酒の評価基準として大きな役割を担っている。受賞は品質の証明として国際的に高い価値を持ち、日本酒部門における最高賞「チャンピオン・サケ」は、その年を代表する一本として世界の専門家から認められる、栄誉の象徴。

古屋絵菜氏について

山梨県甲州市生まれ、テキスタイルアーティスト染色作家。武蔵野美術大学大学院出身。卒業後ろうけつ染めの染色家として活動し、現在は甲州市の生家にアトリエを構えながら全国各地にて企画展を開催。2013年NHK大河ドラマ『八重の桜』のオープニングタイトルバックに作品が採用されるなど、国内外で活躍している。

山梨銘醸・七賢について

1750年、初代北原伊兵衛が旅の途中で白州の銘水に出会い、故郷を離れてこの地に創業。山梨県・白州に蔵を構え、甲斐駒ヶ岳の雪解け水と地元産の米を用いた日本酒を醸造している。1880年には明治天皇の巡幸の折に行在所に指定され、酒を嗜まれた天皇陛下が公式に立ち寄る蔵として知られる。代表銘柄は「七賢」。近年はスパークリング日本酒や長期熟成酒の分野にも注力し、国内外で評価を得ている。所在地は山梨県北杜市。現在は13代目・北原対馬が蔵元を務め、伝統と革新を融合させた酒造りを進めている。

掲載用画像リンク

<https://www.dropbox.com/scl/fo/qknzo5lq6pm23odjyay0u/AKCO9844osAwmerij0YPNXw?rlkey=6kzxqutsgx7z63rslzdn3ka2r&st=ouy477d0&dl=0>

メディアお問い合わせ先

A.KA Tokyo TEL 03-6384-5795 info@akatokyo.com

製品に関するお問い合わせ

山梨銘醸株式会社

山梨県北杜市白州町台ヶ原 2283 TEL 0551-35-2236 [七賢 公式サイト](#)